

科目名	必修／選択	単位数	学 年	学科・類型
国語総合	必修	4	1	理数科および普通科

科目の概要	国語総合では現代文と古典の学習をします。現代文は大きく分けて評論と小説の2分野を学習し、古典は古文と漢文の2分野を学習します。国語の学習を通じて、「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」の4つの領域の力をつけることが目標となります。国語を学習する上で大切なことは、言葉を大切にすることだと思えます。日常生活の中から言葉に敏感になり、他人の言葉を正しく理解し、また自分の言葉でものを考え、自分の言葉で正しく相手に伝える。このようなことを授業の中で学習していくのが現代文の分野です。作品を読み自分はどのように思うのかという、考える力を養うことはもちろん大切ですが、作者の言い分を正しく読みとる読解力が非常に重要になります。 古典の分野については、中学校の時とは比較にならないほど本格的に学習します。古語や体系的な文法の知識、漢文の訓読法や句法の理解など、日々の積み重ねが大きくものをいいます。少しずつ知識を積み上げ、先人たちの言葉を理解し、自分のこれからの人生の糧とできるよう頑張りましょう。 ちなみに、センター試験では、評論50点、小説50点、古文50点、漢文50点がそれぞれ出題されます。受験を意識しながら毎日の学習に取り組んで下さい。
-------	---

教材名	教科書	国語総合現代文編（東京書籍）国語総合古典編（東京書籍）
	副教材	体系古典文法（数研出版） 漢文学習必携（京都書房） 改訂版 大学入試漢字TOP2000（いいずな書店） 基礎 古典 改訂版（尚文出版）

学習到達目標	①作品読解に関わる基礎的な文法・句法・漢字・語句等を習得し、読解技能の習熟を図る。 ②筆者が書き進める論理をたどり、文章の全体像を理解できるようにする。 ③他者の意見をもとに考えを深め、自らの考えを適切に表現できるようにする。 ④難度の高い文章や読解問題に触れながら、大学入試に対応できる学力の養成を図る。
--------	---

学習方法	自分の考えと作者の考えをはっきりと区別して読み進めることを徹底する。思いこみで作品を解釈せず、必ず本文中に根拠を求める姿勢をしっかりと身につけられるように学習活動を行う。
------	---

評価の方法 及び 評価基準 ルーブリック		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	評価方法	・課題の提出状況 ・授業に対する姿勢 学習到達目標④	・授業での取り組み ・グループワーク 学習到達目標③	・定期考査 ・授業での取り組み 学習到達目標③	・定期考査 ・授業での取り組み 学習到達目標②	・定期考査 ・小テスト 学習到達目標①
	S	文章の内容に関心を持ち、積極的に読解しようとしている。また、学力の向上に向けて課題等に意欲的に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを適切に表現し、また他者の意見を的確に理解することができる。	文章を読み、考えや求められていることを自ら適切に表現することができる。	文章の論理展開に従って文章構造を的確に把握し、筆者の主張を正しく理解することができる。	文章読解技能の習熟を図り、適切に設問に対処できる。難解な漢字・語句・文法事項等を習得している。
	A	文章の内容に関心を持ち、読解しようとしている。また、学力の向上に向けて課題等に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを表現し、また他者の意見を理解することができる。	文章を読み自ら考えたことや求められていることを文章として表現することができる。	文章の論理展開に従って文章構造を把握し、筆者の主張を理解することができる。	文章読解技能の習熟を図り、基礎的な漢字・語句・文法事項等を習得している。
	B	文章の内容に関心を持ち、読解しようとしている。また、不十分ながら課題等に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを表現するが、他者の意見を理解することが不十分である。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することができるがやや表現が稚拙である。	文章の論理展開に従った文章構造の把握が不十分であるが、筆者の主張を理解することができる。	文章読解技能の習熟は不十分だが、基礎的な漢字・語句・文法事項等は習得している。
C	文章の内容を読解しようとしておらず、課題への取り組みも不十分である。	会話による自らの考えの表現が不十分であり、また他者の意見を理解することも不十分である。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することが不十分である。	文章の論理展開に従った文章構造の把握と、筆者の主張の理解がともに不十分である。	文章読解技能の習熟は不十分であり、基礎的な漢字・語句・文法事項等も習得していない。	

年 間 学 習 計 画

月	章・単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4	授業開きのオリエンテーション	高校での学習方法について学ぶ	1	・課題テスト
5	古文編 「検非違使忠明」今昔物語集 古典文法 P.6 ～ P.36	・古文を学ぶ意義、古文の基本的な文法事項を習得し、説話教材を通して、確認、定着させる。	3 6	
6	「絵仏師良秀」宇治拾遺物語 「大江山の歌」十訓抄	・歴史的仮名遣い・品詞の概要・用言を習得する。	3 3	・第1回定期試験
	漢文編 「訓読の基本」 漢文学習必携 P.5 ～ P.32	・漢文を学ぶ意義、漢文の訓読法、基本的句法を習得し、作品で確認、定着させる。	2 2	
7	「故事成語－二編」 「寓話－三編」		4 1 2	
8	漢文学習必携 P.33 ～ P.77 現代文編	・対比の構図を意識して読解し、筆者の主張が「水」を具体的事例とした文化論であること理解する。	4 4	・課題テスト
9	「水の東西」山崎正和 古文編 古典文法 P.45 ～ P.78		4 8	・第2回定期試験
10	「筑紫に、…」徒然草 「ある人、…」徒然草 「九月二十日のころ」徒然草 「今日は…」徒然草	・助動詞を習得し、作品の読解を通して定着させる一方、筆者の人間や自然に対するものの見方、感じ方を読み取る。	3 3 3 3	
11	漢文編 「文 雑説」 「史話 十八史略」	・句法書を用い基本的語彙、句法の習得をした後に読解を行い、漢文に慣れ親しみながら当時の人の考え方、感じ方を学ぶ。	4 1 2	・第3回定期試験
12	漢文学習必携 P.78 ～ P.106 古文編	・助動詞を習得し、作品の読解を通して定着させる一方、歌物語に慣れ親しみ、その特徴を理解する。	4 4	
1	「芥川」伊勢物語 「東下り」伊勢物語 「筒井筒」伊勢物語		6 5	
2	漢文編 「唐代の詩文」 現代文編	・漢詩の修辞を学習し、漢詩の特徴を理解し、読み解く力をつける。 ・筆者の論の展開を理解し、その論旨を把握し、自らの考えを深める。	8 4	・課題テスト
3	「〈顔〉という現象」鷲田清一 「羅生門」芥川龍之介 「映像文化の変貌」松浦寿輝	・主人公の心理の推移を客観的にとらえ、人間の本質について考察する。 筆者の論の展開を理解し、その論旨を把握し、自らの考えを深める。	8 4	・第4回定期試験

科目名	必修/選択	単位数	学 年	学科・類型
現代文B	必修	2	2	理数科、普通科

科目の概要	1年次の学習をもとに、「読むこと」を中心により深め、それとともに、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の学習をバランスよく取り入れることで、適切に思考・表現する力と的確に理解する力を育成し、すべての学習・社会生活・人間関係を支える言語的基礎力を養う。 さまざまなジャンルやスタイルの教材をバランスよく学ぶことで、言語感覚を磨き、言語・文化に対する関心を深めるとともに、自己の視野を広げる。
-------	--

教材名	教科書	現代文B (教育出版)
	副教材	改訂版 大学入試漢字TOP2000 (いっいずな書店) 新成現代文 改訂版 (尚文出版)

学習到達目標	①現代文読解に関わる基礎的な漢字・語句等の語彙を習得し、読解技能の習熟を図る。 ②筆者が書き進める論理をたどり、文章の全体像を理解できるようにする。 ③他者の意見をもとに考えを深め、自らの考えを適切に表現できるようにする。 ④読解問題に触れながら、大学入試問題に対応できる学力養成を図る。
--------	---

学習方法	授業で扱う文章は暗記するほど繰り返し読み込むことが必要である。言葉を情性で扱わないためにも、少しでも違和感があるときは辞書をひくべきである。また、普段の会話においても論理を意識することである。自分の発言に根拠があるのか、問うてみることである。 また、テキストは社会や自分に開かれていることを意識し、社会事象に関連づけたり自分の問題として問い返すこと。
------	--

		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価の方法 及び	評価 方法	・課題の提出状況 ・授業に対する姿勢 学習到達目標④	・授業内での取り組み ・グループワーク 学習到達目標③	・定期考査 ・授業内での取り組み 学習到達目標③	・定期考査 ・授業内での取り組み 学習到達目標②	・定期考査 ・小テスト 学習到達目標①
評価基準 ルーブリック	S	文章の内容に関心を持ち、積極的に読解しようとしている。また、学力の向上に向けて課題等に意欲的に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを適切に表現し、また他者の意見を的確に理解することができる。	文章を読み自ら考えや求められていることを適切な表現でき、第三者にも分かりやすく文章として適切に表現することができる。	文章の論理展開に従って文章構造を的確に把握し、筆者の主張を正しく理解することができる。	現代文の読解技能の習熟を図り、適切に設問に対処できる。基礎的な漢字・語句ばかりでなく、難解な漢字・語句等を習得している。
	A	文章の内容に関心を持ち、読解しようとしている。また、学力の向上に向けて課題等に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを表現し、また他者の意見を理解することができる。	文章を読み自ら考えたことや求められていることを文章として表現することができる。	文章の論理展開に従って文章構造を把握し、筆者の主張を理解することができる。	現代文の読解技能の習熟を図り、基礎的な漢字・語句等を習得している。
	B	文章の内容に関心を持ち、読解しようとしている。また、不十分ながら課題等に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを表現するが、他者の意見を理解することが不十分である。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することができるがやや表現が稚拙である。	文章の論理展開に従って文章構造の把握が不十分であるが、筆者の主張を理解することができる。	現代文の読解技能の習熟は不十分であるが、基礎的な漢字・語句等は習得している。
	C	文章の内容を読解しようとしておらず、課題への取り組みも不十分である。	会話によって自らの考えの表現が不十分であり、また他者の意見を理解することが不十分である。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することが不十分である。	文章の論理展開に従って文章構造の把握が不十分であり、筆者の主張を理解することも不十分である。	現代文の読解技能の習熟は不十分であり、基礎的な漢字・語句等も習得していない。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	授業開きのオリエンテーション	シラバスを使って、今年度の学習計画について学ぶ。	1	春課題テスト
5	随筆 「大人への丸太 たじろがず渡ってみよう」 姜尚中	学年の当初にあたり、言葉との出会いや驚き、生きることを考える。	3	
6	小説 「山月記」 中島敦 「神様2011」 川上弘美	表に表れたものでは知りえない、人間存在の内奥について考える。 最も現代的な短編小説を読み、文学作品に親しみ、そこに描かれている現代的テーマを知る。	9 5	第1回定期考査
7	評論 「教養はなんのために」 柏倉康夫	論の展開を追い、構成を把握することで、要旨をつかむ。 「教養」とは何か、根源的に考える、評論の方法を学ぶ。	6	学力テスト
8	「脳と創造性」 茂木健一郎	脳についての考察をとおしてそれに対する自分の意見をもつ。	5	夏課題テスト
9	「『である』ことと『する』こと」 丸山真男	近代社会における権利や自由のあり方を考え、現代日本の問題点を具体的に考察する。	6	第2回定期考査
10	随筆 「後生の桜」 石牟礼道子	随筆の特質を理解し、読解力を向上させる。忘れてはならぬ記憶としての水俣病を、人々の生活と言葉をとおして考える。	3	
11	「同情トイフコト」 大江健三郎	「同情」という言葉のもつ本質的な意味を読み取り、人間が生きるうえで、あるいは文学における想像力について考える。	4	学力テスト
12	小説 「こころ」 夏目漱石	日本文学の代表的な作品を読み、その現代に通じる問題意識を読み取ることで、作品主題の普遍性を理解する。	10	第3回定期考査
1	評論 「問われる『身体』の生命」 西谷修	論理的な文章の読解力を高め、論理的な思考力、表現力を養う。	5	冬課題テスト
2	「欲望と資本主義」 佐伯啓思	生命倫理や資本主義といった、現代社会が直面する問題について認識を深め、課題意識を明確にする。	5	学力テスト センター早期模試
3	「〈私〉はどこへ行く？」 黒崎政男	評論文の読解をとおして、現代社会の現状を客観的に分析する思考力を養う。	5	第4回定期考査
	「技術の変質と二十一世紀の課題」 加藤尚武	現代技術の進歩とそれが投げかけている倫理の問題から、私たちに課せられた課題を考える。(演習形式)	3	

科目名		必修／選択	単位数	学 年	学科・類型	
古典B		必修	理2／文3	2	理数科、普通科	
科目の概要	1年次「国語総合」で学習したことの確認をしながら、古文・漢文の読解をおこなう科目です。 古文では既習文法事項の「用言」と「助動詞」、ならびに「敬語法」を読解の場で確認しながら、新規文法事項として「助詞」を学びます。 漢文では既習の句法を復習しつつ、実践的な読解の方法に主眼を置いて学びます。					
教材名	教科書	古典B古文編 ・ 古典B漢文編 ・ (教育出版)				
	副教材	完全マスター古典文法 (第一学習社) 漢文学習必携 (京都書房) 新成 古典 改訂版 (尚文出版)				
学習到達目標	①古典読解に関わる基礎的な文法・句法・語句等を習得し、読解技能の習熟を図る。 ②筆者が書き進める論理をたどり、文章の全体像を理解できるようにする。 ③他者の意見をもとに考えを深め、自らの考えを適切に表現できるようにする。 ④読解問題に触れながら、大学入試問題に対応できる学力養成を図る。					
学習方法	音読、暗唱を試みながら、テキストを繰り返し読む必要がある。読解の場においても文法知識が読解そのものに必要だという意識を持つまで読み込むことが必要である。 そのために、辞書の活用は必須である。授業の際には手元に置き、教師の説明の補完材料として欲しい。 また、自分の力だけで文章と格闘するために、予習は全訳が必須である。問題意識を持ちながら授業に望んで欲しい。					
評価の方法 及び 評価基準と 評価標準 ルーブリック		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	評価方法	・課題の提出状況 ・授業に対する姿勢 学習到達目標④	・授業内での取り組み ・グループワーク 学習到達目標③	・定期考査 ・授業内での取り組み 学習到達目標③	・定期考査 ・授業内での取り組み 学習到達目標②	・定期考査 ・小テスト 学習到達目標①
	S	文章の内容に関心を持ち、積極的に読解しようとしている。また、学力の向上に向けて課題等に意欲的に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを適切に表現し、また他者の意見を的確に理解することができる。	文章を読み自ら考えたことを文章として適切に表現することができる。	文章の論理展開に従って文章構造を的確に把握し、筆者の主張を正しく理解することができる。	古典の読解技能の習熟を図り、基礎的な漢字・語句等を習得している。
	A	文章の内容に関心を持ち、読解しようとしている。また、学力の向上に向けて課題等に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを表現し、また他者の意見を理解することができる。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することができる。	文章の論理展開に従って文章構造を把握し、筆者の主張を理解することができる。	古典の読解技能の習熟は不十分だが、基礎的な漢字・語句等を習得している。
	B	文章の内容に関心を持ち、読解しようとしている。また、不十分ながら課題等に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを表現するが、他者の意見を理解することが不十分である。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することができるがやや表現が稚拙である。	文章の論理展開に従って文章構造の把握が不十分であるが、筆者の主張を理解することができる。	古典の基礎的な漢字・語句等を習得している。
	C	文章の内容を読解しようとしておらず、課題への取り組みが不十分である。	会話による自らの考えの表現が不十分であり、また他者の意見を理解することが不十分である。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することが不十分である。	文章の論理展開に従って文章構造の把握が不十分であり、筆者の主張を理解することも不十分である。	古典の基礎的な漢字・語句等を習得していない。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト等)
4	授業開きのオリエンテーション	シラバスを使って、今年度の学習計画について学ぶ。	1	春課題テスト
5	古文 説話 「能は歌詠み」『古今著聞集』 「成方と名笛」『十訓抄』 「袴垂と保昌」『宇治拾遺物語』 (※文型のみ)	説話を読み、時代と社会に対する認識を深めるとともに、そこに描かれた多様な人物像にふれることで、古典に親しむ態度を養う。	4 4 4	
6	漢文 逸話 「梁上君子」『後漢書』 「江南橋為江北枳」『説苑』 「王昭君」『西京雜記』 (※文型のみ)	逸話作品の読解をとおして、漢文に用いられる語句の意味、用法を理解し、その構成や展開に即した主題の読み取りができるようにする。	4 4 4	第1回定期考査
7	古文 随筆 「人の亡きあとばかり」『徒然草』 (※文型のみ) 「家居のつきづきしく」『徒然草』 「行く川の流れ」『方丈記』	代表的な随筆作品を読み、作者のものの見方、感じ方、考え方について理解を深めるとともに、文化や感性の伝統について考える。	4 5 4	
8	漢文 史伝 「鴻門の会」『史記』	史記を読解しながら、項羽と劉邦を中心とした多彩な登場人物の描写を味わうとともに、作者司馬遷の人間に対する観察眼、洞察力にふれる。	8	夏課題テスト
9	「四面楚歌」『史記』(※文型のみ) 「項王の最後」『史記』(※文型のみ)		2 2	第2回定期考査
10	古文 物語 「光源氏の誕生」『源氏物語』 「初冠」『伊勢物語』 「貝合」『堤中納言物語』 (※文型のみ)	物語作品を読み、登場人物の人物像や心理を考えるとともに、物語の世界に親しむ態度を養う。 和歌の修辞について学び、それを鑑賞する態度を養う。	4 5 4	
11	漢文 思想 「不忍人之心」『孟子』 「人之性悪」『荀子』 「小国寡民」『老子』 (※文型のみ)	それぞれの思想家のものの見方、考え方を理解するとともに、それらの思想の生まれた時代背景への理解を深め、それらの思想がわが国の文化や社会に与えた影響についても考える。	3 2 2	
12	「混沌」『莊子』 (※文型のみ) 「侵官之害」『韓非子』	重要句型等の理解を深める。	2 3	第3回定期考査
1	古文 日記 「嘆きつつ」『蜻蛉日記』 「若宮誕生」『紫式部日記』 「帥の宮からの便り」『和泉式部日記』 (※文型のみ)	女性の手になる日記作品を読み、当時の生き方を知るとともに、それぞれの作品にあらわれたものの見方、感じ方、考え方を参考にして、作品を鑑賞する。	4 5 4	冬課題テスト 学力テスト
2	漢文 史伝 「完璧帰趙」『史記』(※文型のみ)	長文の読解をとおして、漢文の表現に慣れ、語句や句型の知識の定着と、内容把握能力の向上を図る。	5	センター早期模試
3	「灑池の会」『史記』 「刎頸之交」『史記』		4	
	古典Bのおさらい	大学入試問題等の演習	3 文5	第4回定期考査

科目名	必修／選択	単位数	学 年	学科・類型
現代文	必修	2	3	理数科・普通科

科目の概要	センター試験において、現代文は「評論」「小説」が各50点満点の配点で1題ずつ出題されます。限られた試験時間の中で、かなりの分量の問題文を読み、問題に答えていかなければなりません。 今年度の現代文の授業は、問題読解演習を繰り返しながら、その中で文章の要旨をとらえる練習や要約する練習、また文章を解釈して記述する練習をしていきます。 また、本文中に出てくる漢字や語句に対する理解度が、その文章に対する理解度の精度に大きな影響を及ぼします。そのため、漢字の力を含めた語彙力を強化することも現代文の授業の大きな目標となります。 作品を読み、自分はどう思うのかという、考える力を養うことは勿論大切なことですが、作者の言い分を正しく正確に読みとる読解力が非常に重要です。そのための訓練として、「文章展開の論理をたどる力」「豊富な語彙力」＋「確かな記述力」を養っていきましょう。			
-------	--	--	--	--

教材名	教科書	探求現代文B (桐原書店)		
	副教材	・錬成現代文改訂版(尚文出版) ・改訂版大学入試漢字TOP2000(いっずな書房) ・国語実戦問題集(桐原書店) ・新国語総合ガイド三訂版(京都書房)		

担当者	佐藤 哲浩・笹原 竜矢・一瀬 礼子
-----	-------------------

学習到達目標	①現代文読解に関わる基礎的な漢字・語句等の語彙を習得し、読解技能の習熟を図る。 ②筆者が書き進める論理をたどり、文章の全体像を理解できるようにする。 ③他者の意見をもとに考えを深め、自らの考えを適切に表現できるようにする。 ④難度の高い文章や読解問題に触れながら、大学入試に対応できる学力の養成を図る。
--------	--

学習方法	現代文では、問題演習を中心にして、入試において必要となる実践的な解法を身につけていくことを目標とする。現代文においては、授業の予習をすることは必要ではないが、復習として解答後に問題文を良く見直して、なぜ正解がこのようなものになるのかという点についてしっかりと考えて、問題に対する取り組み方を自分のものにしてもらいたい。
------	---

評価の方法 及び 評価基準 ルーブリック					
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価方法	・課題の提出状況 ・授業に対する姿勢 学習到達目標④	・授業内での取り組み ・グループワーク 学習到達目標③	・定期考査 ・授業内での取り組み 学習到達目標③	・定期考査 ・授業内での取り組み 学習到達目標②	・定期考査 ・小テスト 学習到達目標①
S	文章の内容に関心を持ち、積極的に読解しようとしている。また、学力の向上に向けて課題等に意欲的に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを適切に表現し、また他者の意見を的確に理解することができる。	文章を読み自ら考えや求められていることを適切な表現でき、第三者にも分かりやすく文章として適切に表現することができる。	文章の論理展開に従って文章構造を的確に把握し、筆者の主張を正しく理解することができる。	現代文の読解技能の習熟を図り、適切に設問に対処できる。基礎的な漢字・語句ばかりでなく、難解な漢字・語句等を習得している。
A	文章の内容に関心を持ち、読解しようとしている。また、学力の向上に向けて課題等に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを表現し、また他者の意見を理解することができる。	文章を読み自ら考えたことや求められていることを文章として表現することができる。	文章の論理展開に従って文章構造を把握し、筆者の主張を理解することができる。	現代文の読解技能の習熟を図り、基礎的な漢字・語句等を習得している。
B	文章の内容に関心を持ち、読解しようとしている。また、不十分ながら課題等に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを表現するが、他者の意見を理解することが不十分である。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することができるがやや表現が稚拙である。	文章の論理展開に従って文章構造の把握が不十分であるが、筆者の主張を理解することができる。	現代文の読解技能の習熟は不十分であるが、基礎的な漢字・語句等は習得している。
C	文章の内容を読解しようとしておらず、課題への取り組みも不十分である。	会話によって自らの考えの表現が不十分であり、また他者の意見を理解することが不十分である。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することが不十分である。	文章の論理展開に従って文章構造の把握が不十分であり、筆者の主張を理解することも不十分である。	現代文の読解技能の習熟は不十分であり、基礎的な漢字・語句等も習得していない。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	「鍊成現代文」第一編 1 「日本語の外へ」 2 「仮説力」 3 「詩集とは何か」 4 「あすなる物語」 5 「布のちから」 6 「言語の脳科学」	第一編 ①読解の基本である、文章に書いてあることを書いてあるとおりに読む練習をする。主観を入れずに読む練習である。 ②対比関係や具体例と本題との区別に気を付けながら読む練習をする。 ③登場人物の行動・発言等を根拠にして小説を読解する練習をする。	6	第1回定期考査
5	7 「塩狩峠」 8 「20世紀とは何だったのか」 9 「英雄の器」 10 「恋するコンピュータ」		8	
	「国語実戦問題集」 第1回・評論～第2回・小説			
6	「鍊成現代文」第二編 11 「日曜日の読書」 12 「失われた『道』の豊かさ」 13 「都市の感情」 14 「花影の花」 15 「デザインの教科書」 16 「身体の零度」 17 「己を放り込む虚構」 18 「社会学入門」 19 「センセイの鞆」 20 「私の人生観」	第二編 ①第一編で学習したことをもとに、素早く解く練習をする。 ②本格的な記述問題の解き方について演習を繰り返す。 ③文章の構成に気を付けて読解練習する。 ※ 漢字テキストp 6～p 36 「1 必修語300語」	7	
7	「国語実戦問題集」 第3回・評論～第4回・小説		5	
8	「鍊成現代文」第三編 21 「『野生』の哲学」 22 「人はなぜオカルトを信じるのか」 23 「青桐」 24 「脳から身体・環境へ」 25 「働く女は敵ばかり」 26 「黄金伝説」	第三編 ①文章を速く正確に読みこなす練習をする。 ②内容が難解で読みづらい文章の読解演習を重ねる。 ③文章の要旨のまとめ方を学習する。	3	
9	27 「文明としての教育」 28 「明治百年」 29 「星々の舟」 30 「生き残る言語」	※ 漢字テキストp 38～p 93 「2 重要語A」	4	
10	「大学入試過去問題演習」	①これまでの学習を踏まえ、様々なジャンルの読解演習をする。 ②記述式の演習を重点的に行う。	8	
11	「国語実戦問題集」 第5回・評論～第7回・小説	※ 漢字テキストp 94～p 141 「2 重要語B」		
12			6	

科目名	必修／選択	単位数	学 年	学科・類型
古典B	必修	理2／文2	3	理数科、普通科理型・文型

科目の概要	古典Bは、昨年度までに学習した古典教材を発展的にした話材を取り上げ、読解力を高めるための学習を行います。センター試験や二次試験、私大の個別試験では、基礎基本となる知識事項を駆使しながら、単純な語彙力や文法事項だけでは到達できない読解力の有無が試されるので、知識偏重や読解力のみで勝負するといった思いこみを捨て、バランスよく学習することを心掛けましょう。なお、授業を終えた後の疑問点は、すぐに教科担任に質問し、解消するようにして下さい。必要なときに迅速に自ら行動を起こそうとする姿勢が学力を更に高めへと導いてくれるはずです。					
教材名	教科書	探求古典B古文編 ・ 探求古典B漢文編 (桐原書店)				
	副教材	・読解をたいせつにする体系古典文法 八訂版 (数研出版) ・漢文学習必携 二訂版 (京都書房) ・錬成古典 (古文・漢文) 改訂版 (尚文出版) ・新国語総合ガイド三訂版 (京都書房)				
学習到達目標	①古典読解に関わる基礎的な文法・句法・語句等を習得し、読解技能の習熟を図る。 ②筆者が書き進める論理をたどり、文章の全体像を理解できるようにする。 ③他者の意見をもとに考えを深め、自らの考えを適切に表現できるようにする。 ④難度の高い文章や読解問題に触れながら、大学入試に対応できる学力の養成を図る。					
学習方法	基礎・基本の確認と定着を心掛ける。授業では、定番とされる作品を数多く扱っていくので、本文をノートに書き写すことや学習プリント等の予習 (語句の下調べ、品詞分解や現代語訳作りなど) を行い、可能な限りの準備をして授業に臨んで下さい。また、知識・技能の定着を図るには、反復して練習すること (=復習) が必要不可欠です。限られた日数の中で最大限にできる努力を続けて、自分の目指す学力まで到達して欲しいと思います。					
評価の方法 及び 評価基準 ルーブリック		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	評価方法	・課題の提出状況 ・授業に対する姿勢 学習到達目標④	・授業内での取り組み ・グループワーク 学習到達目標③	・定期考査 ・授業内での取り組み 学習到達目標③	・定期考査 ・授業内での取り組み 学習到達目標②	・定期考査 ・小テスト 学習到達目標①
	S	文章の内容に関心を持ち、積極的に読解しようとしている。また、学力の向上に向けて課題等に意欲的に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを適切に表現し、また他者の意見を的確に理解することができる。	文章を読み自ら考えたことを文章として適切に表現することができる。	文章の論理展開に従って文章構造を的確に把握し、筆者の主張を正しく理解することができる。	古典の読解技能の習熟を図り、基礎的な漢字・語句等を習得している。
	A	文章の内容に関心を持ち、読解しようとしている。また、学力の向上に向けて課題等に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを表現し、また他者の意見を理解することができる。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することができる。	文章の論理展開に従って文章構造を把握し、筆者の主張を理解することができる。	古典の読解技能の習熟は不十分であるが、基礎的な漢字・語句等を習得している。
	B	文章の内容に関心を持ち、読解しようとしている。また、不十分ながら課題等に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを表現するが、他者の意見を理解することが不十分である。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することができるがやや表現が稚拙である。	文章の論理展開に従って文章構造の把握が不十分であるが、筆者の主張を理解することができる。	古典の基礎的な漢字・語句等を習得している。
C	文章の内容を読解しようとしておらず、課題への取り組みが不十分である。	会話によって自らの考えの表現が不十分であり、また他者の意見を理解することが不十分である。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することが不十分である。	文章の論理展開に従って文章構造の把握が不十分であり、筆者の主張を理解することも不十分である。	古典の基礎的な漢字・語句等を習得していない。	

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	オリエンテーション	・教材及び授業の進め方等の確認を行う。	共1	第一回定期テスト
	古文編第Ⅱ部① 説話 『古今著聞集』	・登場人物の行動や心情を、その言動から把握する。	共3	
5	漢文編第Ⅰ部⑤ 史伝 (二) 『史記』「鴻門之会」	・漢文の基本事項を確認する。 ・正確な訓読ができる。 ・句法の確認をする。	共10	
6	古文編第Ⅰ部⑥ 物語 『源氏物語』 ・光源氏の誕生 ・若紫との出会い (文のみ)	・登場人物の行動や発言内容を的確に理解し、そこから人物像を読み取る。	文22 理8	
7	漢文編第Ⅰ部⑥ 思想 『論語』『孟子』『荀子』	・思想家の文章を読み、人間や政治をめぐるさまざまな思想を読み取る	文10 理6	
8	古文編第Ⅱ部② 随筆 『枕草子』 ・すさまじきもの ・二月つごもりごろに	・正確に読解し、作者の感性を読み取る。 ・和歌の解釈法を修得する。 ・助詞を修得する。	文10 理5	第二回定期テスト
9	・大納言参りたまひて (文のみ)	・敬語法の定着をはかる。		
	漢文編第Ⅱ部 ①逸話 ②史伝 (一) ・不顧後患『説苑』 ・孔明臥竜『蒙求』 ・子路『史記』 ・荊軻『十八史略』 (文のみ)	・漢文の正確な訓読ができる	文10 理7	
10	古文編第Ⅰ部⑤ 歴史と軍記 『平家物語』 ・宇治川の先陣 ・先帝入水 (文のみ)	・登場人物の行動や発言内容を的確に理解し、そこから人物像を読み取る。 ・敬語法の定着をはかる。	文12 理6	
11	古文編第Ⅱ部 ③日記 ④評論 「蜻蛉日記」 ・嘆きつつひとり寝る夜 『古今和歌集仮名序』	・和歌の解釈法を修得する。 ・助詞を修得する。	文12 理6	第三回定期テスト
12	・大和歌は 『俊頼髓脳』 ・和歌の効用 『無名抄』 (文のみ) ・俊成自賛歌のこと			

科目名	必修／選択	単位数	学 年	学科・類型
古典講読	必修	文2	3	普通科文型

科目の概要	古典講読は、3年前期までに学習した古典の知識を実践的な「読む」「書く」力へと結びつけるものです。多読を通して古典の様々な価値観に触れ見識を深めることはもちろん、基礎基本の確認をしながら積極的に「書く」ことを通してより深い読みへとつなげましょう。					
教材名	教科書	なし				
	副教材	・2＋プラス 錬成古典（古文・漢文）改訂版（尚文出版） ・読解をたいせつにする体系古典文法 八訂版（数研出版） ・漢文学習必携 二訂版（京都書房） ・新国語総合ガイド三訂版（京都書房）				
学習到達目標		①演習を通して、読解力と記述力のさらなる向上を図る。 ②演習した問題をグループで話し合い、意見交換をすることで思考力や想像力の向上を図る。 ③読解問題に触れながら、大学入試に対応できる学力の養成を図る。				
学習方法		副教材『錬成古典』を毎時間1題ずつ演習し、解答解説による自己添削を行う。				
評価の方法 及び 評価基準 ルーブリック		関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
	評価方法	・課題の提出状況 ・授業に対する姿勢 学習到達目標①	・授業内での取り組み ・グループワーク 学習到達目標②	・定期考査 ・授業内での取り組み 学習到達目標③	・定期考査 ・授業内での取り組み 学習到達目標③	・定期考査 ・小テスト 学習到達目標①
	S	文章の内容に関心を持ち、積極的に読解しようとしている。また、学力の向上に向けて課題等に意欲的に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを適切に表現し、また他者の意見を的確に理解することができる。	文章を読み自ら考えたことを文章として適切に表現することができる。	文章の論理展開に従って文章構造を的確に把握し、筆者の主張を正しく理解することができる。	古文の読解技能の習熟を図り、基礎的な漢字・語句等を習得している。
	A	文章の内容に関心を持ち、読解しようとしている。また、学力の向上に向けて課題等に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを表現し、また他者の意見を理解することができる。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することができる。	文章の論理展開に従って文章構造を把握し、筆者の主張を理解することができる。	古文の読解技能の習熟は不十分であるが、基礎的な漢字・語句等を習得している。
	B	文章の内容に関心を持ち、読解しようとしている。また、不十分ながら課題等に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを表現するが、他者の意見を理解することが不十分である。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することができるがやや表現が稚拙である。	文章の論理展開に従って文章構造の把握が不十分であるが、筆者の主張を理解することができる。	古文の基礎的な漢字・語句等を習得している。
	C	文章の内容を読解しようとしている。また、不十分ながら課題等に取り組むことができる。	会話によって自らの考えを表現が不十分であり、また他者の意見を理解することが不十分である。	文章を読み自ら考えたことを文章として表現することが不十分である。	文章の論理展開に従って文章構造の把握が不十分であり、筆者の主張を理解することも不十分である。	古文の基礎的な漢字・語句等を習得していない。

科目名 [古典講読]

月	章・単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)	
10	「鍊成古典」ステップ1 古文 1 「徒然草」 2 「宇治拾遺物語」 3 「落窪物語」 4 「鹿島紀行」 5 「蜻蛉日記」 漢文 6 「宋名臣言行録」 7 「孟子」 8 「十八史略」 9 「世説新語」 10 「唐詩三百首」	問題演習により文章読解力および、古典文法知識、漢文句形知識の確認を行う。 ステップ1 ①読解の基本である、本文の現代語訳を正確にできるようにする。 ②基本語彙の確認をする。 ③文法事項の確認をする。 古典文法：用言、助動詞の確認 漢文句形：句形①(否定、疑問、反語) 漢詩の知識 ※重要古語90 p72～73	4 4 7	第3回定期試験	
	11	「鍊成古典」ステップ2 古文 11 「土佐日記」 12 「雨月物語」 13 「平家物語」 14 「今昔物語集」 15 「大和物語」 漢文 16 「説苑」 17 「日喻」 18 「韓非子」 19 「郁離子」 20 「戦國策」	ステップ2 ①ステップ1で学習したことをもとに、素早く解く練習をする。 ②語彙知識の確認をする。 ③文章構成と文法事項の確認をする。 古典文法：助動詞、助詞の確認 漢文句形：句形②(使役、仮定、受身、限定、累加) ※重要古語90 p74～75		4 4 7
	小計		30		
	12	「鍊成古典」ステップ3 古文 21 「十訓抄」 22 「無名抄」 23 「大鏡」 24 「枕草子」 25 「源氏物語」 漢文 26 「莊子」 27 「論語」 28 「後漢書」 29 「史記」 30 「資治通鑑」	ステップ3 ①早く正確に読みこなす練習をする。 ②語彙知識の確認をする。 ③文章構成と文法事項の確認をする。 古典文法：敬語法、語句識別の確認 漢文句形：句形③(比較、比況、選択、抑揚、願望、詠嘆)		4 4 7
	小計		30		
	合計		60		